頂下さつた。これの種名はまだきめかねているが，面白いのは2岐した背板が第1から第7までは正常であるが第8から第11まで左側のものが異常で畸形的である。第8背板は下縁膨出,第9から第11までは何れも圓形や勾玉狀などに萎縮している。

◇Microcreagrisというカニムシには日本產は5種ある。1934年までにこの屬は37種を含んでいた。その後 Zoological Récord で戰後最新の分まで當つてみたら M. parisi Vachon, M. indochinensis Redikortzev, M. chinensis Beier (南京產), M. heros Beier, M. lata Hoff, M. ozarkensis Hoff, M. abnormis Turk, M. cavernicola Vachon, M. balcanica Hadzi 等がふえて總べて46種程になつたようである。この Microcreagris という屬名の意味が判らないで困つている。(以上各項　高島春雄)

國立自然教育園内の蜘蛛 (追加)

本誌前號に約40種の和名を揭げた。その後，1947年と1948年にこの園近くの白金小學校の兒童達が採集したクモを，それを保管していた長谷川仁氏から渡され，その中に前回のリストに含まれていないものを幾つか見出したので追加する。長谷川氏並びに鑑識して頂いた植村利夫氏に謝意を捧げる。

ヤマシログモ科　42ヤマシログモ Scytodes nigrolineata Simon　コガネグモ科　43ヤマシロオニグモ Araneus scylla (Karsch)　44ヨツデゴミグモ Cyclosa sedeculata Karsch (卵嚢のみ) ハエトリグモ科　45アカアリグモ Myrmarachne japonica Karsch フクログモ科　46ムナアカフクログモ Clubiona vigil Karsch　(高島春雄)

尾瀬のヤスデ一斑

尾瀬沼を中心とする尾瀨濕原での動植物の採集調査は昨昭和25年のはやりになつた。學者，硏究者，熱心家が夏季には多數出かけたようである。昆蟲學者長谷川仁氏が昆蟲採集の餘力を以て多足類をも若干採りそれを私に寄贈して下さつた。それを三好保德氏が調査して次の如くお知らせ下さつた。標品は現在三好氏のお手許にある。

1 Japonaria laminata (Attems) オビババヤスデ　1950年7月16日，至佛山，1♂　同年9月19日，富士見峠，3♂♂ 5♀♀

2 Epanerchodus sp. オビヤスデ1種　1950年9月19日，1♀ (♂が無いので種名まで決定し難い)

3 Karteroiulus niger Attems　クロヒメヤスデ

1950年7月14〜15日，富士見峠，1♂ 2♀♀　以上記して後日の備忘とする。富士見峠も至佛山も濕原からは離れた所である。(高島春雄)